

# 令和5年度 橘処理センター整備事業に係る地域住民と行政による検討協議会 第49回 議事録（要約）

日 時 令和6年2月8日（木） 18時10分 ～ 19時45分

場 所 川崎市民プラザ セミナールーム

## 1 会長あいさつ

## 2 議題

### (1) 事務局からの報告

#### 【概要】

事務局から、市民委員の提示資料を基に、検討協議会の進行等の改善について提案を行いました。

#### 【発言要約】

事務局：（市民委員から資料二部「橘処理センター整備事業に係る地域住民と行政による検討協議会の継続について」、「環境教育の要諦（案）」のご提示有。）まず事務局からの報告ということで、「橘処理センター整備事業に係る地域住民と行政による検討協議会の継続について」という資料からお話しさせていただき、次の環境教育・環境学習の方にテーマを移していきたいと考えております。事前郵送してございますので、中身について詳しくは触れませんが、これまでの検討協議会で事務局から皆様に対して運営や議事内容、議事の過程等でさまざまな不手際がございました。その不手際に対して、今日は反省の念を述べて、今後の進め方について検討させていただければと思っております。ここに書かれている内容について、我々も重く受け止めてございますので、検討協議会としては残り僅かでございますが、これまでの運営・進め方について、委員の皆さまの意見を反映できずに、検討協議会を進んでしまったということを反省し、今後の進め方について議論させていただければと考えてございます。大変申し訳ございませんでした。

会長：ただ今のように、市民委員から出していただいた1月12日付のご意見に対して、事務局側の受け止め方や反省をしたいと言うお話がございましたが、よろしいでしょうか。

市民委員：本来検討協議会は、市民と行政と一緒に色々なことを検討し、協議して前に進めるという形であるべきで、過去に本当にひどい状態であったことは事実ですが、それを反省したということであれば、本来の検討協議会の形で一緒にやりたいと思います。

事務局：ありがとうございます。続いてこれからの検討協議会について、我々の考えてきた内容をまとめてございます。

一点目に、環境教育・環境学習について今まで行ってきた議論の内容をまとめた資料を作成したいと考えております。会長から内容のご提案と、資料としてまとめていきたいというお話を受けており、我々の方で内容について吟味している段階です。過去の経過もありますので、会長と行政の方でまとめさせていただいて、きちんとまとめた形でこの議論を終わらせたいと考えております。

二点目は、環境問題をテーマとした動画を作成して行きたいと考えてございます。今のところ、環境問題について問題提起をするような3分以内の動画を一本作りたいと考えております。動画の内容については、市民委員からご提案いただいた資料「環境教育の要諦（案）」の内容を反映したいと考えております。動画を作成するとなれば、時間も限られていますので、できる限りメールやオンライン会議による定例化をして進めていきたいと考えてございます。映像の編集会社と連絡がとれていますので、できれば来週中に顔合わせやスケジュールを決めさせていただければと考えています。委員の方全員の参加は求められないかと思っておりますので、参加できる方を中心に話を進めさせていただいて、議事内容については郵送やメールで共有していけたらと考えてございます。

三点目は、残り僅かですが、限られた時間で脱炭素に関する情報提供と、知識の豊富な市民委員の方もいらっしゃると思いますので、情報共有を進めていきたいと考えてございます。脱炭素に向けた情報提供をお約束しながら、一社の情報しかご提供できていなかった経過もございますので、橘処理センターに、ということではないですが、川崎市全体として脱炭素に向けた取組について議論して行くことは充分価値があるのではないかと考えていますので、こちらも動画作成と同じタイミングでできたらと思っている次第です。

このような形になりましたが、検討協議会を円滑に進めていきたいと考え、本日までご説明させていただきました。

- 会 長： 今の事務局のご提案について何かご意見・ご質問はございますか。
- 市民委員： 基本的なコンセプトの中に脱炭素だけでなく、マイクロプラスチックの問題についても入れて頂ければと思っています。委員の方々は既に資料をお読みいただいたと思いますが、マイクロプラスチックの問題は非常に危機的な状況になっていまして、皆さんの体内の中にも既にマイクロプラスチックが入っている可能性が高いです。これが将来様々な問題を及ぼす可能性が指摘されていますので、将来を担う子供たちにとっても非常に重要な問題です。環境教育の確立や今までの経過を考慮して、マイクロプラスチックの問題も脱炭素と同時に考えていければと思っています。
- 事務局： それと環境教育・環境学習のまとめ方の中で、会長から地域との連携についてご提案があったと思います。例えば、動画には音楽が必要になりますので、地域の学校が演奏する音楽を採用するなど、そういったところで地域の方々にも入っていただくような形が取れば、地域との連携が取れるのではないかと思います。ご検討ください。
- 事務局： 分かりました。マイクロプラスチックの問題についても触れていかなるを得ないと思います。
- 市民委員： 地域との連携について、具体的な学校名を提案いただきましたが、そちらにはツテが無いので、他の方法で協力者を得ていきたいと考えております。市民の参加が重要で、みんなで環境問題を考えていく流れを作っていくべきだと思います。特に溝口はモデル地区になっているので、そういった取組が肝心ではないかと考えています。名前を挙げた学校については、あくまで例なので、市立の小中学校の音楽の先生たちが入ってくださってもいいと思います。
- 会 長： 要するに、地域に開かれた橘処理センターの環境教育という考え方を、環境教育の最終的なまとめの中に、具体的に入れていただければありがたいと思っています。
- 事務局： どういう形になるかはともかくとして、地域との連携という形は取っていただきたいと考えてございます。
- 会 長： 環境学習についての議論のまとめは、いつできますか。
- 事務局： もう2月に入っていますので、可能であれば次回の検討協議会までに作成したいと考えてございます。

- 会 長： 二点目の動画作成についてはいかがでしょうか。3分以内という非常に短い想定ですが、一方的に説明するのではなく考えさせて、さらに自分が参加するというような中身が欲しいと思います。ですから最後に、疑問を感じてどうしたらいいかを考えさせるような、子供たちの主体的な意見を確認できる締め方を希望したいと思います。また進め方についてですが、メールやオンライン会議によって定例化ということは、動画の作成段階において何回か打合せがあるということですか。
- 市民委員： もう残り時間がありませんので、動画の見せられる部分は提案しながら打合せの都度、進捗と現在の状況を報告したいと考えております。
- 会 長： 打合せの際に作成中の動画を映して、それを見ながら意見を求めるという話ですか。
- 事務局： 映像の編集会社には、市民委員から提案いただいた環境教育についての資料を送付していて、これをもとにあのあらすじを作ってもらっていますので、まずはそれを見てもらいたいと思っています。
- 市民委員： いつまでに作るのですか。
- 事務局： 3月末までには作りたいと思っています。先ほど申し上げた3分程度というのは、そこまでに作れる長さとして想定しています。
- 市民委員： 動画の尺は詰める方が大変なので、短期間で作ると尺は逆に伸びてしまいます。しかし、中身が面白ければ長い動画でも子供たちはついてくると思います。
- また、その映像会社の人がここに居れば話が早いのではないかと思います。全体の流れがどうなるのが分からないと、パートごとに見せられても意見が出せません。映像会社の人がいる場で意見を出し合って詰めて行かないと、3月末までに完成させるのは厳しいと思うので、その辺り、ご検討いただければと思います。
- 事務局： 先ほど申し上げたとおり、来週予定している打合せの場には映像会社の担当が同席しますので、事務局を通さずに意見を言えるような体勢を考えています。それ以降は少しオンラインを使いながら、ここまで来る時間を節約し、意見交換させていただきたいと思います。
- 会 長： 来週にも打合せをしたいということですが、内容について来週の打合せでまとめて、動画作成の作業に入るということですか。それまでに希望があった場合は、事務局へ連絡すればいいですか。
- 事務局： はい。
- 市民委員： 作成する動画は、アニメーションベースですか。それとも実像にナレーションを付けたものを想定していますか。
- 事務局： 実像とナレーションで作っていかうと考えています。
- 市民委員： 実像のみで構成すると硬い動画になってしまうので、子供達についてもらう動画にするのは中々難しいです。アニメーションやイラストを少し入れた方が良いでしょう。アニメとかイラストとか使える会社なのか、ドキュメンタリーのような映像を作っている会社なのか、開示していただけるとありがたいです。
- 事務局： メールでご連絡させていただきます。
- 会 長： 来週から市民委員の方から提案されている資料に沿った中身の動画を作りたいということですが、あらすじが出来上がったなら、それは委員全員に共有していただけるのでしょうか。
- 事務局： 打合せの都度、議事録や資料等は提供させていただきたいと考えてございます。
- 市民委員： 打合せは、メールやオンライン会議による定例化をして進めるということですが、動画完成までに全体会議みたいなものはあるのでしょうか。
- 事務局： 今のところ全体会議は、完成できたところで開こうと考えてございます。途中経過については、郵送またメールで連絡していく形を取っていきたいと思います。

市民委員： 資料を見ただけでわかるものですか。

事務局： わかるように資料を作成していきたいと思っています。

市民委員： 本当のデッドラインはいつですか。映像会社に3月末ギリギリで納品してもらい、それから4月に市役所でチェックするという流れですか。

事務局： 完成自体は3月ですが、チェックバックの予定はこれから精査になります。

市民委員： デッドラインが3月末ということは、最終チェック日を1週間ぐらい前にはしておかないと、何かあった場合に直せないで、3月末よりも1週間ぐらい前に完成するようにスケジュールを組んでいく必要があると思います。そういったところを映像会社と打合せして、日程表にして委員に共有してください。

事務局： 分かりました。来週の打合せの際にスケジュールを出して、問題のあるところはその場で直していく形でやらせていただきたいと思います。市役所内にも複数のチェック機構がありますので、それなりの時間が必要だと思っています。

市民委員： 本日欠席されている市民委員の方も、子供たちが見て楽しくて学べて考えることができる環境教育ということに以前からすごくこだわっているの、その点は映像会社にしっかりと話をさせていただけたらと思います。

事務局： 動画に使用する映像やアニメーションは、効果があるものを活用していきたいと思っています。どこまで叶うかわかりませんが、子供たちの視点を重視するのであれば、今の子供たちの意見が分かる方にも出席していただく方が良いのではないかと思います。

会長： 小学校の先生ですとか、そういったことに詳しい先生方がいらっしゃいますので、あたっていただけたら安心かと思っています。

進め方もはっきりしましたので、この程度でよろしいでしょうか。市民委員の皆さんのご意見が、より一層反映されるように進めていただきたいと思います。以上でよろしいでしょうか。

続いて、脱炭素技術について情報提供と情報共有を行うということですが、具合的にはブレインストーミングを行いたいということについて、ご意見・ご質問はありませんか。

市民委員： 議論の目的が川崎市全体ということでしたが、我々は今後橘処理センターでどういったCO<sub>2</sub>対策するのかについて協議するために集まっているので、そのための技術や、将来橘処理センターにCO<sub>2</sub>分離回収装置を置く可能性があるということなのでCO<sub>2</sub>分離回収装置など、軸を決めて行くべきだと思います。ただ技術情報を開示して話し合うというのでは、あまりにも時間がないので、目的を明確にして議論していくべきだと思います。

会長： 事務局の提案では、脱炭素に向けての情報共有を、ブレインストーミングでやりたいということですが、今の市民委員のご意見は、一般的な脱炭素技術についての情報共有ではなく、橘処理センターに焦点を当てて行くべきだというご意見ですね。

市民委員： ブレインストーミングをするのですか。

事務局： 意見交換をしたいと思っています。

市民委員： 新しい技術情報の提供が行われていなかったというのが会長のご指摘で、行政の方で集めた情報を出していただきたいと思います。なので、ブレインストーミングを行うというのは、主旨と違うのではないかと思います。最新の技術情報の中で橘処理センターの脱炭素に向けて使える可能性があるものをご提示いただき、運営協議会に引き継ぐための資料に残すということで、いかがでしょうか。

会長： 検討協議会設置要綱の中で、事務局は検討協議会に技術情報を提供すると決まっていながら、それを過去に一回しかやっていませんでした。前回の見学会の際にも、調査等の対応が間に合わないということで保留になったままですが、情報提供の件はどうなっていますか。

事務局： もう少し発展した対話ができることを期待して、ブレインストーミングと記載しておりましたので、原点に戻り、まずは技術情報についてまとめてご提供させていただきたいと考えてございます。その際には複数のメーカーから情報を集め、一般的な技術動向についてまとめていきたいと思えます。

会長： 情報提供はいつでもやっただけでできますか。

事務局： 皆様のご希望によって、検討協議会全体で行うか、興味のある委員の方々だけを集めて行うか決めたいと思えます。

会長： 全体がいいです。

市民委員： 検討協議会で行うのが前提の話だと思います。

事務局： では、全体の中でご説明させていただきます。

市民委員： 協議の形式の話ばかりで具体的な資料がありませんが、今日集まった意味はありますか。

事務局： 今日は進め方について提案し、ご意見をいただいた上で、次回以降それに沿った形で進めていきたいと思っています。次の検討協議会では、技術情報に特化した内容でお話したいと思えます。

市民委員： 次の会はいつですか。

市民委員： 日程は、できるだけ早く知らせてください。忙しい人が多いので、だいたい一か月ぐらい前でないと、予定が入ってしまっています。その日にどの議題の資料を用意するかも事前に決めておかないと、話がいつも前に戻ったような形になってしまっています。

また、レジユメは毎回準備して欲しいです。レジユメが無いと、何を話したかすぐ忘れてしまいますし、レジユメを見れば、どういった話をしたか思い出せます。

話が後ろ向きでつまらないので、前向きに話しをしてほしいと思えます。私は、事務局ができるということであれば、事務局に任せるところは任せて進めてもいいと思えます。

事務局： 次回の日程については行政委員の予定や会議室の予約状況に左右されるので、ちょっと一旦持ち帰らせていただきたいと思いますと思えますが、概ね3月中旬から下旬になるかと思えます。ただ、1週間～2週間で検討協議会が終わってしまうという問題もあります。

会長： 3月中旬ということ言うと、検討協議会はあと一回ということですか。そこで全部決めてしまうということですか。

副会長： 日程については、行政側が全員揃わないかもしれませんが、少し模索したいと思えます。議会の方が始まるということもあって、いつ開催できるのか、今ここでお伝えできないことは申し訳ないと思えますが、少し検討させていただきます。

市民委員： 全員は必要ないです。脱炭素の技術動向についての情報提供と、動画のたたき台をみんなで一緒に見て意見を出し合うだけなので、次回いつ開催するかを決めていただければ話はスムーズに進むと思えます。

市民委員： 先ほど言ったように3月末に完成させるのであれば、中旬か20日くらいには完成版を出さないといけませんし、そこで直しが出た場合に対応することを考えると、スケジュールはかなり厳しいと思えます。

また、あと一回の開催では足りないのではないかなと思えます。動画や脱炭素の技術動向に関する情報提供だけでなく、検討協議会から今度運営協議会に引き継ぐ内容を整理しないといけないので、検討協議会を開かざるを得ない状態になってくると思えます。緊急で開催する場合、日程は複数の候補日を提示して、最も人が集まる日にちに設定するなど、こちらの負荷を減らすやり方を考えて欲しいと思えます。

日程について協議（内容省略）

会長： 次回の日程について、3月7日というご提案がございましたが、いかがですか。

市民委員： 議題は何ですか。動画の中身の方はできますか。

事務局： 脱炭素の情報提供です。動画は出来上がった部分までお見せします。

市民委員： それでいいと思います。内容はできるだけ絞り込んでください。  
脱炭素の施術動向についての情報提供に関しては、それが実現するかどうかもわかりませんし、新しい技術に関する資料の内容を確認し合うだけだと思うので、動画に関する協議と併せても、一回で済むと思います。

会長： では、次回の検討協議会は3月7日（木）で決定したいと思います。  
課題はまだ積み残されていますが、予定されていた議題は終わりましたので、本日の検討協議会はこれをもって終了とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。